

中國近世白話文學の電子化の現況（戲文・傳奇篇）

笠井 直美

凡例

1. 本稿の調査対象は、所謂古典戯曲のうち戯文・南戯・傳奇で、完本が現存しているものの電子版である。原則として、莊一拂『中國古典戯曲存目彙考』（上海古籍出版社、1982。以下『彙考』と稱す）「上編」「下編」に收められている（うち完本の存する）ものとした。
2. 本報告書「序」に述べたように、電子化資料は相互の流用・重複が非常に多いため、網羅的な調査は不可能である。本稿では、研究上の目的に合わせてコーパスを構築する場合を念頭に置き、現段階でどの作品について、どのような形態の電子版にアクセスが可能であるかの大要を示すことを旨とし、萬人に開かれているか比較的安価でアクセスできる、テキストデータが取得しやすい、等の観点から、サンプル的に選んだ幾つかのサイトの状況と、収録作品が明らかにできた CD-ROM の状況を示す。
3. 「採録した電子化資料について」（以下「説明」と稱す）、戯文・傳奇の部のリスト（以下「表」と稱す）から成る。資料の具体的な状況については説明の部分に記し、[]内に略稱を記す。
4. 表は、各作品を『彙考』の排列順に排列し、『彙考』の頁數、作品名、作者名、各電子化資料における収録状況を記す。作品名は、本稿では原則として『彙考』に従い、通用している作品名が複数ある場合、（）を用いてなるべく併記した。
5. 表で使用した記號について。
◎：繁體字の全文データが存在する。
○：簡體字の全文データが存在する。
★：繁體字の全文について、形態素をキーとした検索を行うことができる。
☆：簡體字の全文について検索を行うことができるが、全文データを利用することはできない（検索結果のコピー&ペーストに制限がある）。
そのほかの付加情報については、「説明」または注に記した*1。
6. 本稿では原則として繁體字を採用する。簡體字が使用されている資料（その方が多いが）は、繁體字に翻字した。

採録した電子化資料について

1. 中央研究院 [中研院]

漢籍電子文獻・瀚典全文檢索系統：<http://www.sinica.edu.tw/ftms-bin/ftmsw3>

近代漢語語料庫：<http://www.sinica.edu.tw/ftms-bin/kiwi1/pkiwi.sh>

紹介するまでもない有名サイト。「漢籍電子文獻」は、UTF-8 により構築された「新版漢籍電子文獻 3.0 測試版」も運用が始まっているが、戯曲のデータは現在のところ Big5+外字で構築された「瀚典全文檢索系統」の方で公開されている。

『永樂大典戲文三種』は、形態素解析済みのデータを検索できる「近代漢語語料庫」にも収められている。いずれも繁體字。

2. 靈石島 [靈石] : <http://www.lingshidao.com/gushi/index.htm>

『××雜劇選』『××散曲選』の形で戯曲・散曲を収める。簡體字。

3. 亦凡公益圖書館 [亦凡 1] :

<http://www.shuku.net/novels/mulu/xiqu.html>

多くの小説を公開しているサイトだが、戯曲は少ない。簡體字。

4. 亦凡書庫 [亦凡 2] :

<http://www.yifan.net/yihe/novels/mulu/xiqu.html>

「亦凡公益圖書館」とほぼ同内容のデータを公開しているが、完全なミラーサイトではなく、微妙に違っていることがあるので、區別して示すことにした。簡體字。

5. 夢遠書城 [夢遠] : <http://www.my285.com/gdwx/xq/index.htm>

『中國十大古典悲劇集』(明記されていないが、王季思主編、上海文藝出版、1982 であろう) ほか有名な戯曲を収める。「元雜劇一百本」という題の下に 100 種の作品があるが、これは『元曲選』ではなく、戯文も混じっている。頭注も附す作品もある。簡體字。

6. 墨韻凝香 [墨韻] : <http://www.moyun.i2156.com/>

やはり『中國十大古典悲劇集』ほかを収める。[夢遠]が 1 齣 1 ファイル等、細かく分割して表示することが多いのに對し、1 作品 1 ファイル等、ある程度まとめて表示する傾向がある。簡體字。

7. 西陸・古典文學之家 [西陸] :

<http://bbs4.xilu.com/cgi-bin/bbs/searchbbs?forum=wave99>

掲示板形式で古籍の電子版が投稿されるサイトなので、一覧性のある目録は存在しないようだ(上記の検索ページで目的の作品を探すことができる)。

そのためか、同じ作品が重複して投稿されることも多い。本稿では、重複も原則として掲出することとし、URL の最後の数字の若い順(投稿された順)に排列した。注は、“/”で區切られているファイルに對する注である(“○○*3”とあれば、注 3 の内容は、重複する二種の簡體字ファイルに共通である。“○/○*3”とあれば、注 3 は、後から投稿され

た一種のみに對する注である)。

[中研院] (瀚典)、[靈石]からの轉載と明記したものもある。殆ど簡體字。繁體字のものも、文字コードは GB 系である。

8. 全元曲 [全元] (青蘋果數據中心制作、北京電子出版物出版中心出版)

CD-ROM。PDF 形式。『芝麻開門：全元曲』(北京正普科技發展有限公司制作、北京新華世紀數碼有限公司出版) は、これと全く同一という*2。

9. 中華傳世藏書：精品典藏 [傳世] (北京卓群數碼科技有限公司制作、北京銀冠電子出版有限公司出版)

CD-ROM。PDF 形式。「全元曲」の部は、[全元]と収録作品自體は同じ (排列が異なる)。

また、これと別に、「桃花扇」を収める。簡體字と繁體字の両方のファイルがあるが、繁體字の方はコンバータを利用して變換したものと思われる。

[全元]・[傳世]「全元曲」の部、いずれも、徐征ほか編『全元曲』(全 12 卷、河北教育出版社)の電子版ではない。収録作品から見ると、張月中・王綱主編『全元曲』(上・下、中州古籍出版社)に基づいたものと思われる。[傳世]「全元曲」の部の方が、雜劇・戲文・散曲と分けている張月中・王綱主編『全元曲』の體例に近い。[全元]は、作者別に排列するなど、更に編集を加えたものと思われる。

10. 芝麻開門：中國古典文學百部二 [百部 2] (北京正普科技發展有限公司制作、北京銀冠電子有限公司出版)

CD-ROM。PDF 形式。簡體字。この類のものはたくさん出回っていると思われる。

11. 中國名著 3300 [名著] (萬方數據電子出版社)

評書の音聲ファイルなども含んだ CD-ROM。古典戲曲の部分は PDF 形式、簡體字。

12. 『六十種曲附盛明雜劇』 [六十種] (北京國學時代文化傳播有限公司)

全文檢索システム付きの CD-ROM。檢索と、檢索結果 200 字以内のコピー&ペーストが可能。簡體字。

13. 『香艷叢書』 [香艷] (北京國學時代文化傳播有限公司)

全文檢索システム付きの CD-ROM。檢索と、檢索結果 200 字以内のコピー&ペーストが可能。簡體字。

表 戲文・傳奇の部

頁	作品名	作者	中研院	靈石	亦凡1	亦凡2	夢遠	墨韻	西陸	全元	傳世	百部2	名著	六十種	香艷
2	小孫屠	蕭天瑞	*3												
5	荊釵記	柯丹邱													
6	白兔記	劉唐卿													
7	拜月亭(幽閨記)	施惠													
9	殺狗記	徐岷													
12	琵琶記	高明							/ *4						
43	宦門子弟錯立身	佚名	*3												
58	張協狀元	佚名	*3												
96	香 記	邵													
98	精忠記	姚茂良													
99	千金記	沈采													
102	三元記(馮京三元記)	沈受先													
106	玉 記	鄭若庸													
117	四賢記	佚名													
819	浣紗記	梁辰魚													
820	鳴鳳記	王世貞													
822	明珠記	陸采													
823	懷香記	陸采													
824	西>+記(南西>+)	李日華													
828	襦記	薛近 ...													
830	紅拂記	張鳳翼													
832	灌園記	張鳳翼													
835	雙珠記	沈鯨													
836	雙烈記	張四維													
838	綵毫記	屠隆													
838	曇花記	屠隆													
839	玉合記	梅鼎祚													
847	義 記	沈璟													
850	青衫記	顧大典													
852	邯鄲記	湯顯祖													
853	南柯記	湯顯祖													
853	紫釵記	湯顯祖													

頁	作品名	作者	中研院	靈石	亦凡1	亦凡2	夢遠	墨韻	西陸	全元	傳世	百部2	名著	六十種	香艷
854	還魂記(牡丹亭)	湯顯祖							*5						*5
854	還魂記(牡丹亭)(碩園刪定本)	湯顯祖													
855	紫簫記	湯顯祖													
865	種玉記	汪廷訥													
866	獅吼記	汪廷訥													
868	鸞0記	葉憲祖													
869	錦箋記	周履靖													
878	琴心記	孫柚													
881	玉簪記	高濂													
884	春無記	王鏊													
885	尋親記	王鏊													
893	運甓記	吾邱瑞													
894	四喜記	謝 2													
896	蕉 1記	單本													
900	金蓮記	陳汝元													
902	投梭記	徐復祚													
903	紅梨記	徐復祚													
911	八義記	徐元													
915	玉鏡臺記	朱鼎													
924	水滸記	許自昌													
931	焚香記	王玉峯													
932	玉環記	楊柔勝													
935	龍膏記	楊													
953	節 1記	許三階													
965	東郭記	孫鍾齡													
973	精忠旗	李梅實					*6	*6	/ *4						
975	嬌紅記	孟稱舜					*6	*6	/ *4						
1029	飛丸記	張景													
1075	綠牡丹	吳炳													
1102	金雀記	無心子													
1139	西樓記	袁于令													
1155	清忠譜	李玉					*6	*6	*4						
1201	風箏誤	李漁													

頁	作品名	作者	中研院	靈石	亦凡1	亦凡2	夢遠	墨韻	西陸	全元	傳世	百部2	名著	六十種	香艷
1269	長生殿	洪昇							/ *4						
1272	桃花扇	孔尚任	*7						/ *4						
1354	雷峰塔	方成培													
1458	茯苓仙	許善長 (玉泉樵子)							*8						
1623	荔鏡記	佚名							*9						
1697	霞箋記	佚名													
1714	贈書記	佚名													

[注]

- * 1 文字コード(character encoding)については、現在、OSにおいてもアプリケーションにおいてもUnicodeへの対応が進み、容易に相互変換できるようになったので、それほど気にする必要はなくなったと考える。特記無き場合はGB系のエンコードである。それ以外の場合は、「説明」に記した。
- * 2 中塚亮氏の御教示による。
- * 3 史語所 小『戲曲暨其他』「明」に、「長安出版社編輯，臺北：長安出版社，1978」とある。これは、永樂大典戲文三種 附録二種（長安出版社、1978。古今小品書籍印行會排印本の複印に、羅錦堂『從宋元南戲 到明代傳奇』、錢南揚『宋元南戲百一』を附す）所收のものと思われる。
- * 4 『中国十大古典悲劇集』とある。頭注も附す。
- * 5 戲曲の正文は無いが、『婦評牡丹亭雜記』（香艷叢書所收）あり。
- * 6 頭注も附す。
- * 7 史語所 小『說戲曲暨其他』「說明」に、『清』孔尚任著，王季思、蘇寰中、楊德平合註，北京：人民文學出版社，1959一版」とある。
- * 8 香艷叢書』所收本に據るといふ
- * 9 嘉靖本」とあり 鄭國權編『泉州傳統戲曲叢書』所收本（中國戲劇出版社、1999）と影印本、及び独自の校訂と影印本との相違を明示している。